

プレ「知のオリンピック」大会報告

—Pre- "Intellectual Olympic" Tournament Report—

藤懸庚汪（知のオリンピック組織委員会委員長）

Kouou Fujikake (Intellectual Olympic Organizing Committee Chairman)

Abstract- An action-oriented framework of the Intellectual Olympics will be explored. Histories of relevant Olympics are firstly introduced. Secondly, methods of realizing the epoch-making event, evolutionary, and alternatives, are covered. Thirdly, candidate themes are illustrated. Fourthly, organization charts, business and relevant planning are summarized. And finally, the meaning and significance of the event and event-oriented problem-solving approach are highlighted.

Keyword: Prospectus, Intellectual Olympics, Realization Methodology, Organization chart, Planning, Programming

事例報告



世界初の「知のオリンピック」プレ大会が、2021年4月22日、東京・千代田区永田町の衆議院第1議員会館国際会議場で開催された。これは、防衛大第1期生、青山学院大学名誉教授（元危機管理学会会長）であった、故石川昭氏の遺志を継いで開かれたものだ。

「知のオリンピック」は、石川昭氏が50年前に提唱し、元IOCのサマランチ会長の承諾を受け開こうとしていた、人類史上最大のイノベーション、「第3世代のオリンピック」である。

人類が体力だけでなく、創造力、開発力、構想力、コミュニケーション力などの知力を競うことで、

全人格的完成、国家間の戦争・紛争のエネルギーを平和や協調のエネルギーに転換していく、理想を説いていた。

今回の開催テーマは、「新たなイノベーションの夜明け」であり、世界の人々のクオリティ・オブ・ライフ（QOL）向上と地球のSDGsに貢献するモノ・コト・イシのイノベーションに向けた提案を、人財と文化、健康と食、環境と産業、経営と金融、ICTとコミュニケーション、グローバルとローカルの6つの競技分野で発表して競い合うものだ。新規（奇）性、論理性、有効性、持続可能性、社会貢献性の5つ評価基準に照らして、審査が行われた。

今回に先立ち、2019年8月7日には衆議院第1議員会館大会議室において「知のオリンピック」プレビュー大会を開催した。また2020年には神奈川県大和市の文化創造拠点シリウスにおいてプレ「知のオリンピック」大会を企画したが、コロナ禍のため開催に至ることができなかった。今回もコロナ禍の中にあっただが、議員会館事務所の理解を得ることに成功し、プレ「知のオリンピック」大会を無

事に開催することが出来た。本来なら秋葉武志・第3代「知のオリンピック」組織委員長が参加するはずであったが急逝したため、秋葉武志氏と石川昭氏の遺影を会場に掲げて大会を実施した。改めて「知のオリンピック」組織委員会の委員と、日本イノベーション融合学会の会員に感謝したい。

競技はコロナ禍のため、会場参加とオンライン参加による同時並行開催となった。大会担当スタッフは朝9時には集合し、会場の設営に取り掛かった。

プログラム 10:30～午前の部		司会・藤懸庚汪
10:30 開会宣言 高梨智弘 日本イノベーション融合学会 理事長	発表競技	
10:35 来賓挨拶 国会議員 蟻川芳子 日本女子大学名誉教授	11:00 子供食堂 (スマイルタイニング)と被災地 青少年ボランティアと教育支援 (公社)青少年育成支援大和の心 代表理事 高橋玉樹	
10:55 審査員紹介 高梨智弘 経済産業新報社 取締役会長 蟻川芳子 日本女子大学名誉教授・ 元理事長・元学長 佐々木昭雄 (一社)中央政策研究所 事務局長 タン・ウィン・シアン エイ・ビー・ビー・ジャパン(株) 会長	11:30 国際的パートナーシップによる 新しい介護施設事業 ～最期まで日本へ戻らない 選択肢～ (株)東京メディカルコンサルティング 代表取締役社長 尊田京子	
	12:00 << 昼食休憩 >>	

プログラム 13:00～午後の部		司会・藤懸庚汪
13:00 「DX検定™」によるDX時代の人財育成 ～DX(デジタル)手法の科学的な組織 人財分析によるビジネスイノベーション の実証～ (株)ネクストエデュケーションシーク 代表取締役社長 齋藤実 (※)	14:40 日本におけるスマート農業の実際と 今後の普及課題 はごろもフーズ(株) 取締役 向井地純一	
13:30 健康増進型保険 vitality で得た知見 を生かしたDX人財育成 住友生命保険相互会社 デジタルオフィサー 岸和良 (※)	15:10 オランダにおけるスマート農業の 金融実務 拓殖大学 商学部 国際ビジネス学科 教授 山村延郎	
14:00 運動療法を取り入れた健康づくり ～産官民融合による社会実装 に向けた研究～ (株)インテック サービスプロデューサー 伊藤雅人(※)	15:40 「特許技術 G-空間ID 行動情報収集で Society5.0を実現」 (株)国際ヘルスケア・マネジメント機構 専務・ (株)ドリームIT研究所 代表取締役 木村礼社 (※)	
14:30 << コーヒー休憩 >>	16:10 << 休憩 >>	
	16:30 審査結果発表	
	17:00 閉会宣言 (※)オンライン	

開催宣言に立った高梨智弘・審査委員長は主催者を代表し、「日本イノベーション融合学会は横割りで知の拠点を90カ所創設している。国際的に知られる知=CHIには知識、知恵、知心が含まれ、幅広く老若男女の知の結集の場としてこのオリンピックを開催したい。」と挨拶を述べた。来賓として宮路拓馬衆議院議員(鹿児島選挙区)が挨拶をした。



日本イノベーション融合学会主催「知のオリンピック」!!! オンライン大会を開催されますことを心よりお慶び申し上げます。
貴会は、二〇一四年の設立以来、異分野間の融合領域における新たなイノベーションの創出により、我が国の活力増進、国際貢献に資することを目的に、イノベーションに係る研究・実践活動を目的として、幅広く活動しておられますことに深く敬意を表します。
本大会は、世界初の知力を競うオリンピックであり、世界の人の向上と地球のSDGsに貢献するモノ・コト・イシのイノベーションの提案が競われると個々におうます。グローバル化の進展とテクノロジーの急速により、社会の持続可能性が益々問われている中、本大会が意義深いものとなりまうことを期待申し上げます。
結びに、本日は集まりの皆様のご健勝とご活躍、そして貴会の益々のご発展を心より祈念し、お祝いのメッセージといたします。
令和三年四月二十一日
総務大臣政務官 衆議院議員 宮路拓馬
有賀 真一 様

引き続き来賓として三浦のぶひろ参議院議員(大橋妙子秘書)が祝辞を述べ、審査員である蟻川芳子・日本女子大学名誉教授が挨拶した。司会は藤懸庚汪「知のオリンピック」組織委員長が務めた。





審査委員は高梨智弘・日本イノベーション融合学会理事長を審査委員長とし、審査委員に蟻川芳子・日本女子大学名誉教授、佐々木昭雄・中央政策研究所事務局長、タン・ウイ・シアン APP ジャパン会長の4人が務めた。



競技発表者は8名であり、会場参加者が3名、オンライン参加者が5名であった。



競技はプレゼンテーションと提出書類(予稿票)による審査の結果、金賞は齋藤実氏(ネクストエデュケーションシンク代表取締役社長)の「DX検定™によるDX時代の人財育成～DX(デジタル)手法の化学的な組織・人財分析によるビジネスイノベーションの実践～」が選ばれた。

銀賞は高橋玉樹氏(公益社団法人青少年育成支援大和の心代表理事)。発表テーマは「子供食堂(スマイルダイニング)と被災地ボランティアによる青少年育成支援活動」。銅賞は岸和良氏(住友生命保険相互会社理事デジタルオフィサー)による「健康増進型保険 vitality で得た知見を生かしたDX人財育成」であった。



以下に石川昭賞（個人と企業）を記載する。

石川昭賞（個人）：尊田京子 株式会社東京メディカルコンサルティング代表取締役社長

「国際的パートナーシップによる新しい介護施設事業～最後まで日本へ戻らない選択肢～」

石川昭賞（個人）：伊藤雅人 株式会社インテックサービスプロデューサー

「運動療法を取入れた健康づくり～産学官民融合による社会実装に向けた研究～」

石川昭賞（個人）：向井地純一 はごろもフーズ株式会社取締役

「日本におけるスマート農業の実際と今後の普及課題」

石川昭賞（個人）：山村延郎 拓殖大学商学部国際ビジネス学科教授

「オランダにおけるスマート農業の金融実務」

石川昭賞（企業）：木村礼壮株式会社国際ヘルスケア・マネジメント機構専務取締役

株式会社ドリーム IT 研究所代表取締役

「特許技術 G - 空間 ID 行動情報収集で Society5.0 を実現」

また今回、大会に参加した国会議員を記載する。

宮路拓馬衆議院議員

三浦のぶひろ参議院議員・大橋妙子秘書（代読）

富岡勉衆議院議員・原澤直樹秘書

宮路拓馬衆議院議員・田中彰吾秘書

長坂康正衆議院議員・佐々木昭雄秘書

松本文明衆議院議員・杉原正徳秘書

青木愛参議院議員・葛西宏悦秘書

なお、前回開催した「知のオリンピック」プレビュー大会（2019年8月7日 衆議院第一議員会館大会議室）では大岡敏孝衆議院議員、江島潔参議院議員、菅家一郎衆議院議員、も会場に駆け付け、大会を盛り上げてくれた。このように徐々にではあるが、「知のオリンピック」は国政を担当する議員たちにも浸透してきている。



閉会宣言は長年、「知のオリンピック」を支援してきた小野瀬由一・日本イノベーション融合学会副理事長が担当し、定刻の17時に大会は無事終了した。

